

## 5. プレゼンテーション資料の作成

### 5.1. 添景の入力

#### 5.1.1. 植栽

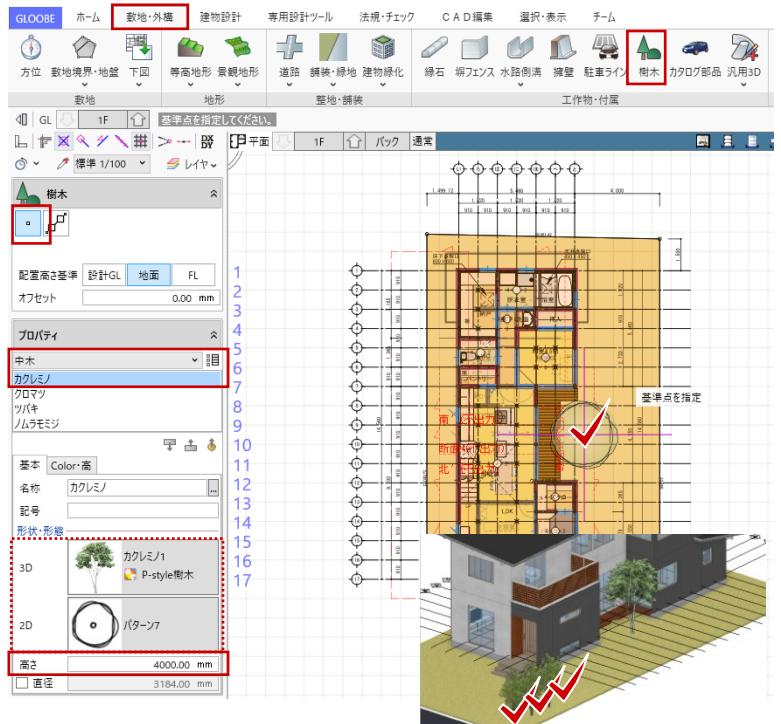
「敷地・外構」タブから「樹木」をクリックします。

入力モード：1点

「樹木」のテンプレートから、ここでは「中木」グループの「カクレミノ」を選びます。「3D」や「2D」をクリックして、任意の樹木を選択いただいてもかまいません。

高さ：4000

大きさを調整して、任意の位置に配置します。



#### 5.1.2. 舗装の編集

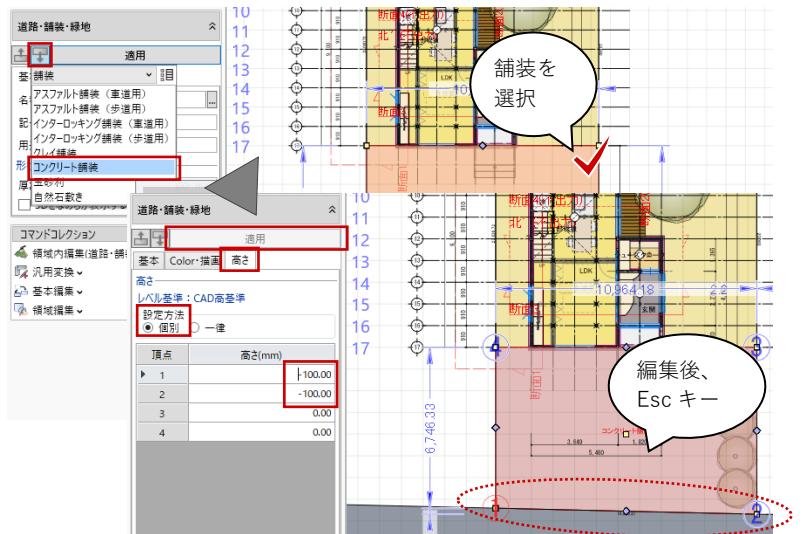
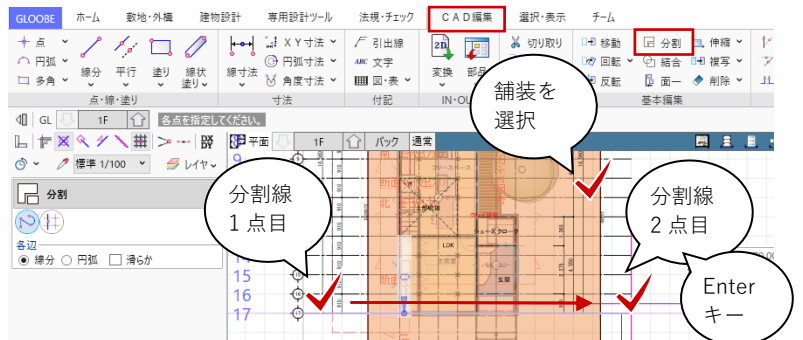
ツールバーの「選択」をクリックして、舗装を選択します。

「CAD 編集」タブの「分割」をクリックして、「17 通り」に沿って、1点目→2点目をクリックし、「Enter キー」で分割します。

ツールバーの「選択」をクリックして、分割された南側の舗装面をクリックします。

「コマンドサポートウィンドウ」の「テンプレート割り当て」から、任意の舗装テンプレート（ここではコンクリート舗装）を選択します。

「高さ」タブで、「個別」をONにして高さを道路側-100に設定し、最後に「適用」をクリックします。編集が完了したら、選択状態を「Esc キー」で解除します。



第三者へのトレーニングのため、このドキュメントを無断転載、複製、配布することは禁止されています

## 5.2. 3D ビューの作成

### 5.2.1. 視点（アングル）の設定

平面ビューツールバーの「視点の変更」をクリックします。

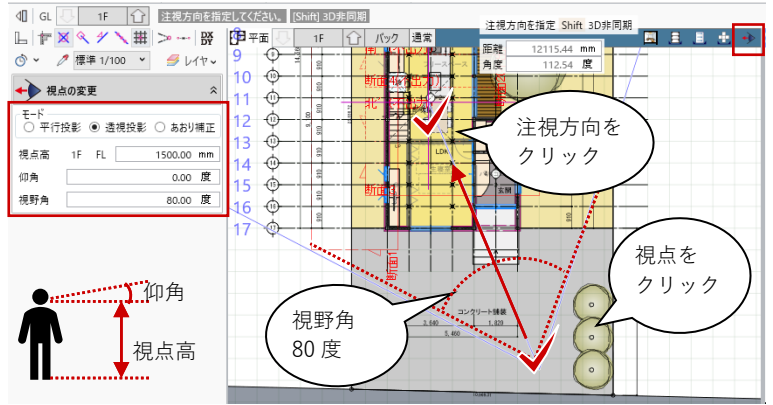
透視投影：ON

視点高：1F FL 1500

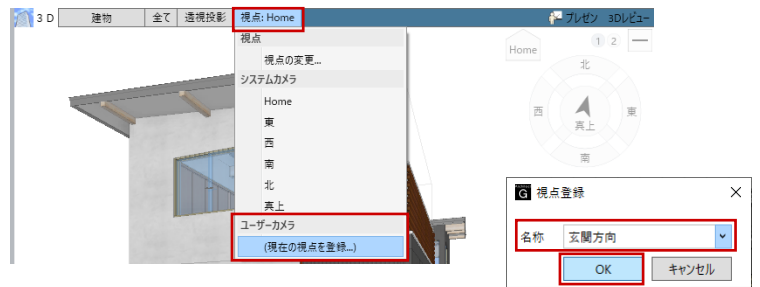
仰角：0

視野角：80度

と設定して、右図のように視点位置→注視方向の順にクリックします。



3D ビューツールバーの「視点の切り替え」をクリックして、「(現在の視点を登録)」をクリックします。「視点登録」で任意の名称を入力して「OK」します。



## 5.3. レンダリング画像の作成

### 5.3.1. プレゼンデータ作成

3D ビューツールバーの「プレゼンデータ作成」をクリックします。

「プレゼン」タブが表示されます。

3D ビューのバーをダブルクリックして、ビューを最大化します。



「プレゼン」タブの「レンダリング確認」をクリックして、次のように設定します。

レンダリングモード：天空光（外観）

強さ／色：80

日時指定：3月21日 12時0分

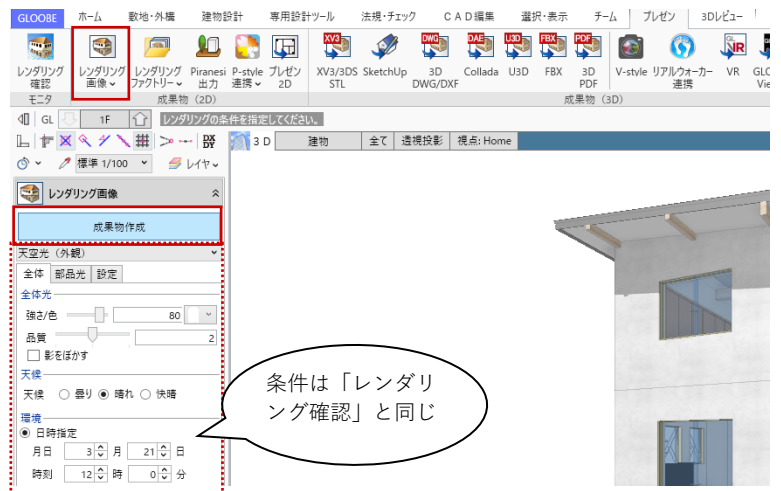
「ユーザー指定」をONにすることで、太陽方向や背景を任意に設定することもできます。

「実行」をクリックして、レンダリング結果を確認します。

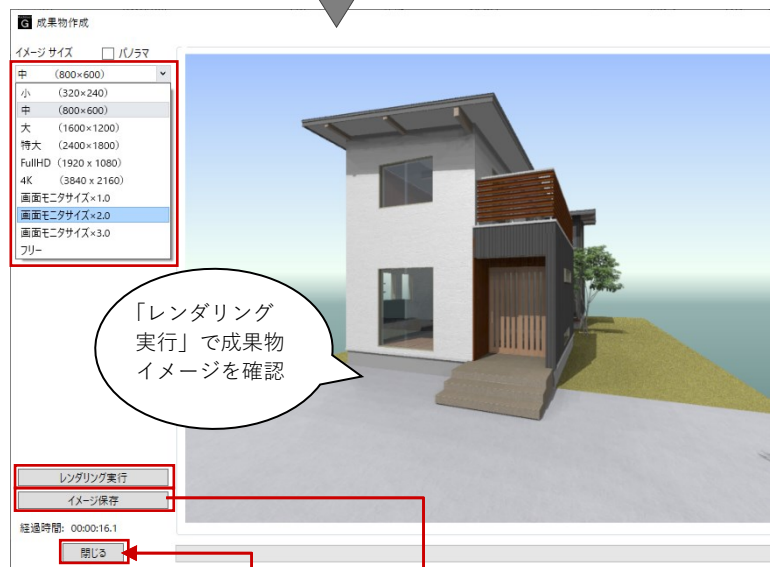
「日時指定」では、入力された方位マークと日付・時刻から、太陽の方向と仰角を自動計算します。また、「プロジェクト」で設定されている「都道府県」の緯度・経度が考慮されます。

## 5.3.2. レンダリング画像

「プレゼン」タブの「レンダリング画像」をクリックします。先ほど設定したレンダリングの条件のままであることを確認して、「成果物作成」をクリックします。

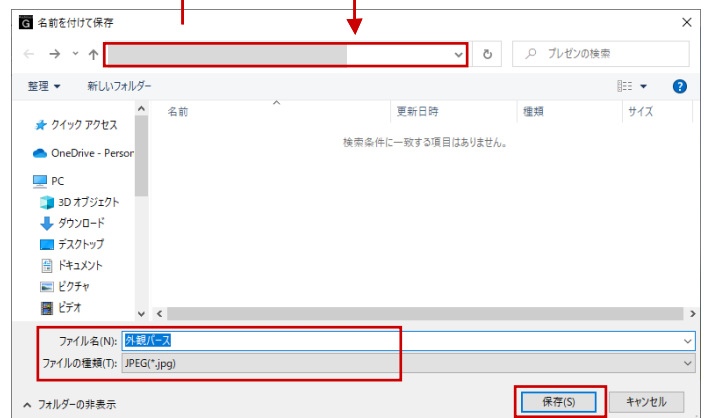


「成果物作成」ダイアログで必要な解像度を指定して、「レンダリング実行」をクリックします。



レンダリング処理終了後、「イメージ保存」をクリックします。

「名前を付けて保存」ダイアログが表示され、保存先とファイル名、ファイルの種類を指定して「保存」します。



「成果物作成」ダイアログを「閉じる」で終了します。

### 5.3.3. 内観パースの作成

内観パースも同様に作成します。

「左右に並べて表示」で再度平面ビューを表示して「視点の変更」で右図のように指定します。

視点高：1F FL 1300

3D ビューツールバーの「視点の切り替え」をクリックして、「(現在の視点を登録)」をクリックします。「視点登録」で任意の名称を入力して「OK」します。

3D ビューのバーをダブルクリックして、ビューを最大化します。

「プレゼン」タブを再度開いて、「レンダリング確認」をクリックして、次のように設定します。照明部品を入力していない場合は室内が暗くなりがちなので、東側から太陽光が入るように、調整しています。

レンダリングモード：

アンビエント・オクルージョン

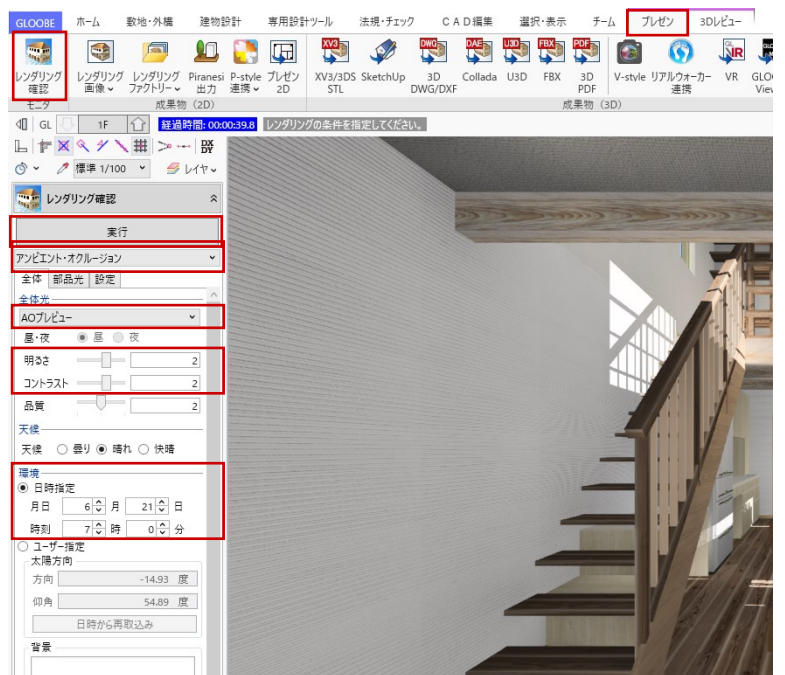
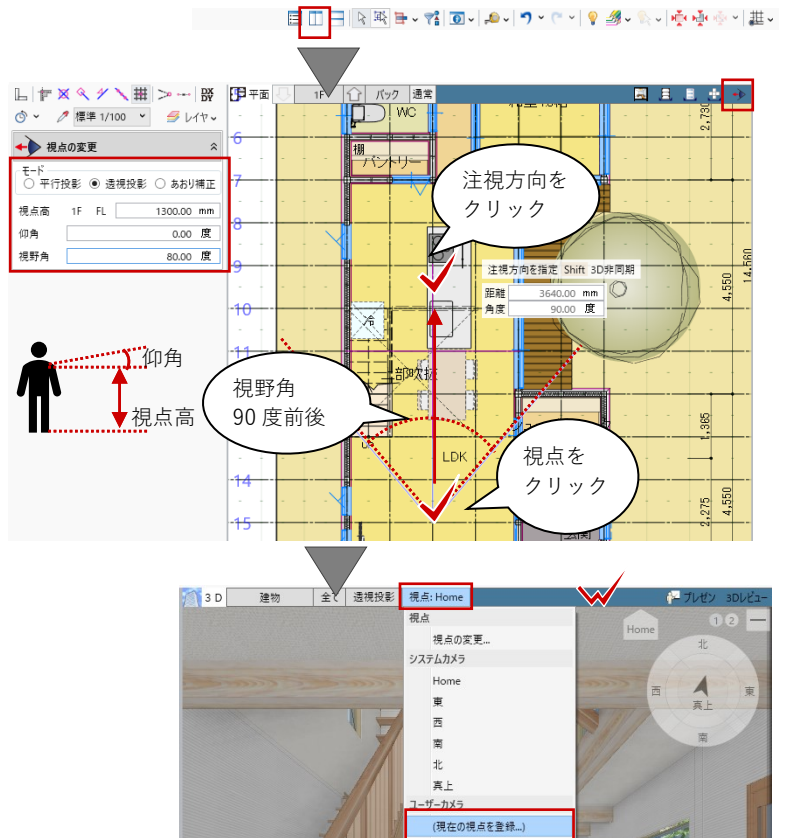
全体光：AO プレビュー

明るさ：2

コントラスト：2

日時指定：6月21日 7時0分

「実行」をクリックして、レンダリング結果を確認します。



外観パースと同様に、「プレゼン」タブの「レンダリング画像」をクリックします。より精細な表現となるよう、レンダリング条件の一部を変更して「成果物作成」をクリックします。

全体タブ

全体光：AO 標準

設定タブ

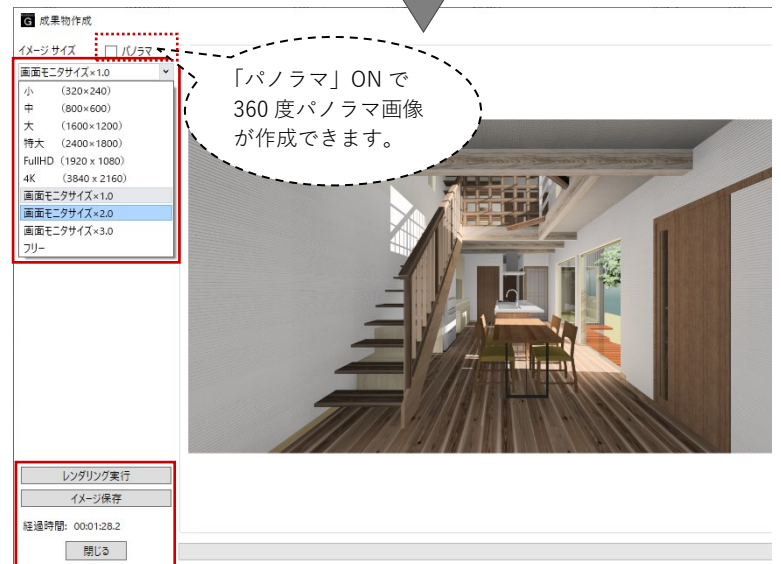
モアレ解消：ON レベル中



「成果物作成」ダイアログで必要な解像度を指定して、「レンダリング実行」をクリックします。

レンダリング処理終了後、「イメージ保存」をクリックし、「名前を付けて保存」します。

「成果物作成」ダイアログを「閉じる」で終了します。



プレゼン用のCGパース作成に必要なレンダリングについては、福井コンピュータアーキテクト公式サイト「お客様サポート」に掲載のマニュアル「レンダリング編」で詳しく紹介されています。ここではご紹介しきれなかった、素材や質感、光源や背景の設定については、マニュアル「レンダリング編」でご確認ください。

▶ GLOOBEの各種マニュアルはこちらから  
<https://archi.fukuicompu.co.jp/user/products/gloobe/manual.html>

